

取扱説明書 (足下灯)

39-50001・39-50002・39-50005

このたびは、マックスレイ照明器具をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用になる前に必ず本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

施工者様へのお願い

器具の取付け、電気工事は電気設備技術基準に従って、有資格者が行って下さい。一般の方の工事は法律で禁止されています。工事終了後、この説明書は必ずお客様にお渡し下さい。

安全に施工していただくために

⚠ 警 告

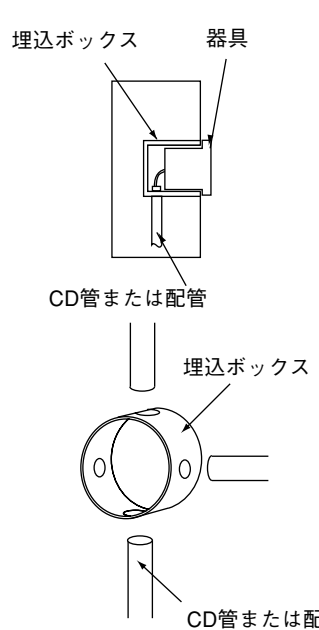
- この器具は一般屋外用壁面埋込形器具です。
床や天井に取付けをしないでください。**火災・落下・感電の原因となります。**
- 取付けは、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
- 器具の改造は、しないでください。**感電・火災・ケガ・故障などの原因となります。**
- 電源接続の際は、取扱説明書の指示にしたがい確実に行ってください。**接続に不備があると火災・感電の原因となります。**

⚠ 注 意

- 電源電圧は器具に表示された定格電圧(交流 100V)の± 6 %以内で使用してください。**感電・火災の原因となります。**
- 周囲温度 5 ～ 35℃の範囲で使用してください。**火災の原因となります。**
- 振動・衝撃・粉じんのある場所、湿気が多い場所、腐食性可燃ガスの発生する場所には、使用しないでください。**落下・感電・火災の原因となります。**
- アース工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実に行ってください。
- 器具の取付けに方向性があります。本体の表示及び取扱説明書にしたがって、正しい方向に取付けて下さい。**火災・落下・感電・ケガ・故障の原因となります。**
- この器具は調光できません。チラツキが発生することがあります。

■ご注意とお願い 図は一部抽象化した共通図です

- 器具を設置される場合は、事前に壁面埋込用ボックス(39-90001別売)をご用意ください。



埋込ボックス 器具

CD管または配管

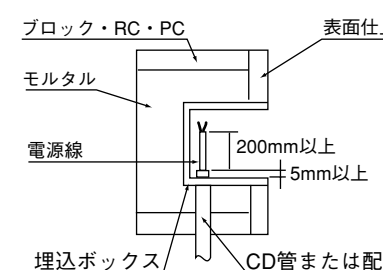
埋込ボックス

CD管または配管

CD管は上下左右いずれの方向からでも接続できます。

図-1

- モルタル固定の場合は、壁表面の仕上げ前に器具を埋込んで、埋込ボックスと埋込穴とのすきまにモルタルをつけて固定してください。



ブロック・RC・PC

表面仕上

モルタル

電源線

200mm以上

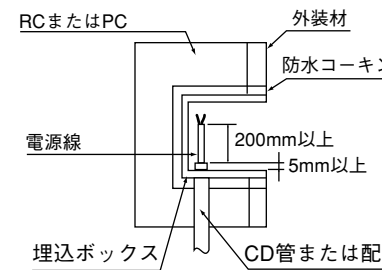
5mm以上

埋込ボックス

CD管または配管

図-2

- ALCパネル外壁やPC・RCの壁や塀などの場合は、埋込ボックスと埋込穴とのすきまに必ず防水のためのコーキングを施してください。



RCまたはPC

外装材

防水コーキング

電源線

200mm以上

5mm以上

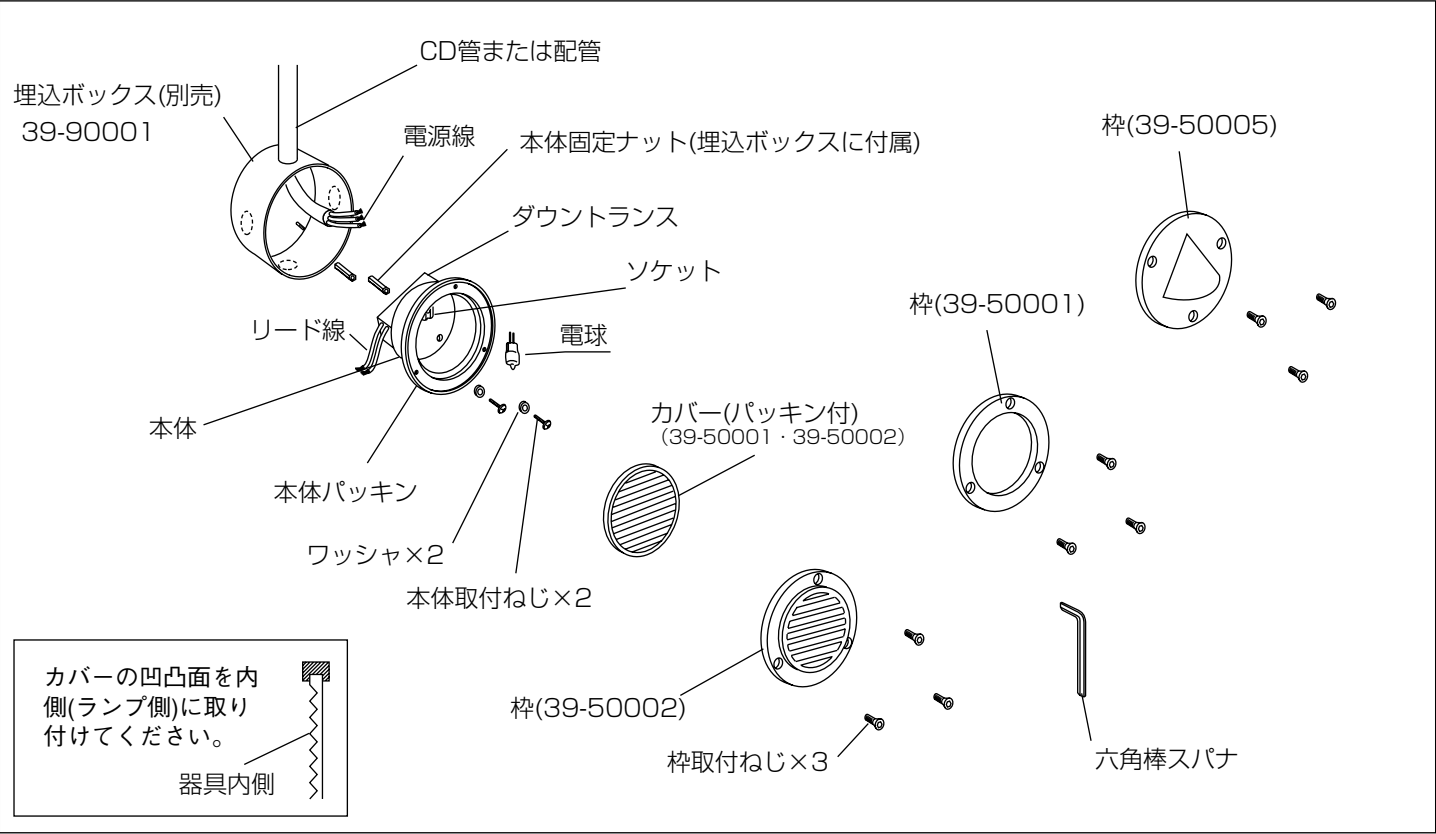
埋込ボックス

CD管または配管

図-3

保管用

■各部の名称



■取付方法 図は抽象化した共通図です

※器具を設置される場合は、あらかじめ別売の壁面埋込用ボックス(埋込ボックス)をご用意ください。
尚、埋込ボックスは、コンクリート流し込み用としてはご使用になれません。図-1・図-2・図-3 参照

※この器具は、ダウントランス付です。

1. 取付前の確認
 - 器具重量(0.5kg)に十分耐える様、取付部の強度を確保して下さい。
2. 埋込ボックスに本体固定ナット(埋込ボックスに付属)を取付ける。
 - 本体固定ナットを時計方向に回して取付けてください。
3. 枠、カバー (39-50001・39-50002) をはずす。
 - 付属の六角棒スパナを使用して、枠取付けねじ(3本)をゆるめ、枠とカバーを本体からはずしてください。
4. 電源線をリード線に確実に結線する。 結線が不十分な場合、不点灯や接触不良の原因となります。
5. アース工事を行う。
 - 本体裏のアース端子を使用してください。
 - 電気設備の技術基準にしたがって行ってください。 結線が不十分な場合、感電の原因となります。
6. 本体を取付ける。
 - 本体(パッキン付)を埋込ボックスにワッシャ(2枚)と本体固定ねじ(2本)で確実に取付けてください。
7. 取付面を防水シールする。
 - 本体および本体パッキンの外周部分を防水シール材などで埋めてください。
8. 電球を確実に取付ける。裏面図-4 参照
 - 電球をソケットに確実に差しこんでください。
9. カバー(パッキン付)を取付ける。
 - カバー(パッキン付)の凹凸面を内側(ランプ側)にして本体にはめてください。(39-50001・39-50002)
10. 枠を取付ける。
 - 枠を本体にかぶせ、枠取付けねじ(3本)を付属の六角棒スパナで確実に締めてください。
 - 39-50002・39-50005の枠は、MAXRAY シールが地表側(下側)にくるように取付けてください。

※付属の六角棒スパナは、電球交換の際に必要ですので大切に保管してください。

ご使用前に、この説明書を必ずお読みの上正しくお使いください。

39-50001-01 2001.0416

保管用

安全にご使用いただくために

⚠ 警 告

- 器具や電球(ランプ)を布や紙など燃えやすいもので覆わないでください。**火災・感電の原因**となります。
- 電球(ランプ)交換の際には、本体表示にしたがって、指定された電球(ランプ)を使用してください。指定以外の電球(ランプ)を使用すると、**火災や器具故障の原因**となります。
- 器具を改造しないでください。**火災・感電・器具故障の原因**となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、**火災・感電の原因**となります。すぐにスイッチを切ってください。異常がおさまったことを確認して、電器店・工事店に修理をご依頼ください。

⚠ 注 意

- 電球(ランプ)交換や、お手入れの際は、安全のため電源を切ってから行ってください。**やけど・感電の原因**となる場合があります。
- 電球(ランプ)と商品などの被照射物との距離には制限があるものがあります。器具表示にしたがって十分な距離をとってください。商品の退色だけでなく、**火災の原因**となることがあります。

■ 枠・カバーの取り付け・取り外し

※必ず電源を切ってから行ってください。

枠・カバーの取り外し

- 付属の六角棒スパナを使用して、枠取付けねじ(3本)をゆるめて枠をはずしてください。(表面 各部の名称参照)
- カバーをはずしてください。(39-50001・39-50002)
カバーがはずれにくい場合は、細めのマイナスドライバをカバーのパッキン部と本体の間にいれ、パッキンをきずつけないように軽くこじてください。(左図参照)

カバー・枠の取り付け

- 上記の逆の手順で行ってください。
カバー・枠を本体にはめる際、ゴミ等がはさまらないようにご注意ください。防水性能がそこなわれます。

■ 電球交換

- 電球の交換は、電源を切り器具の温度が下がってから行ってください。点灯中や消灯直後は、**やけどや感電の原因**となることがあります。
- 電球交換の際には、本体表示にしたがって指定された電球を使用してください。指定以外の電球を使用すると、**火災の原因**となることがあります。

■ 器具の保守・点検

- 照明器具の取り替え時期の目安は、通常のご使用状態においては約8年から10年です。安全に使用するため、5年に1回程度の器具の点検および、6カ月に1回程度の清掃を行うようにお願いします。
- 汚れを落とす場合は、石鹼にひたした、柔らかい布をよく絞って、ふきとり乾いた布で仕上げてください。
シンナー・ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・変質の原因**となります。

お客様相談窓口

マックスレイ株式会社

東京

03-3791-2711

大阪

06-6967-0123

名古屋

052-252-9556

福岡

092-431-7824

MEMO